

本科第 72 期学生 一般採用試験
 数学・社会（世界史）試験問題
 （ 人文・社会科学専攻 ）

（注 意）

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川人W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	氏	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢 字	防大	渚

	志願地本名	専攻区分	番 号
受験番号	神奈川	人	W1234

※受験番号等のマークについて（女子受験者は、番号のWはマークしない。）

志願地本名	札幌：(01)	福島：(10)	専攻区分	番 号				
	函館：(02)	茨城：(11)		性別	0	0	0	0
	旭川：(03)	栃木：(12)			人	1	1	1
	帯広：(04)	群馬：(13)			性	2	2	2
	青森：(05)	埼玉：(14)			別	3	3	3
	岩手：(06)	千葉：(15)			男	4	4	4
	宮城：(07)	東京：(16)			女	5	5	5
	秋田：(08)	神奈川：●				6	6	6
	山形：(09)	新潟：(18)				7	7	7
						8	8	8
			9		9	9		

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。

3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。

例えば、**1**の設問01と表示のある問題に対して（C）と解答する場合は、次の例のように

1の設問01解答欄の**(C)**にマークすること。

解 答 欄	
例	1 設問01 (A) (B) ● (D)

1 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

あるクラスで、A・B・Cの3つのグループに分かれ、東アジアの特定の時代・テーマを選び発表をすることになった。以下はその発表内容の一部である。

[グループA]

私たちは日本・朝鮮半島・中国・ベトナムそれぞれの古代・中世の女性権力者についてまとめました。

[日本] 日本で女王といえば、弥生時代の卑弥呼が有名です。その後、推古天皇から孝謙（称徳）天皇まで、日本史上8人10代の女性天皇のうち6人8代が、7～8世紀に出現しました。同時期の男性天皇は7人でほぼ同数です。国家形成の途上にあったヤマト政権の指導者には男性であることは必須ではありませんでした。近親結婚が多かった古代の日本では、先王の筋筋であり、また皇后として統治経験もある熟達した年長女性が天皇としてふさわしいと考えられたのではないかとされています。

[朝鮮半島] 新羅では、真平王の娘であった善徳女王（位632-647）、その娘の真徳女王（位647-654）が続けて即位し、^[ア]三国統一に功績があった英主として称えられました。善徳女王は韓国ドラマの題材ともなり、日本でもよく知られています。少し後の真聖女王（位887-897）と合わせて、朝鮮半島の歴史上、女王はこの3人しかいません。

[中国] 中国の歴史においては、が唯一の女性皇帝です。彼女は唐の皇帝の皇后・皇太后として30年間権力をふるった後に自ら皇帝として即位しました。後の歴史家から女禍（女性の災い）と称される一方で、家柄にとらわれず能力のある科挙官僚を積極的に登用し、善政を行った有能な君主としての評価もあります。彼女はまた、文化の面では、^[ウ]アジア東部で流行していた仏教を保護したほか、独自の文字を制定しました。

[ベトナム] ベトナム古代史で女性というと、後漢中国の支配に対して反乱を起こし、徴王を名乗った徴（チュン）姉妹が有名です。また、中国から独立して最初の長期王朝となった李朝の最後の皇帝は女性の昭皇（李仏金）です。外戚の陳氏が一族の男性と彼女を結婚させ、夫に禅譲させたことで陳朝が成立しました。李朝の前の前黎朝の成立過程をみても、前王朝丁朝の皇太后楊氏が夫亡き後、幼子連れて黎氏の有力男性を新たな伴侶に選んだことが王朝交代につながりました。このように、この時期のベトナムの王朝交代には女性が重要な役割を果たしていたようです。

設問01 下線部 [ア] の三国とは新羅・百済ともう一つはどこか。適切な国名を以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 渤海
- B 弁韓
- C 加耶（加羅）
- D 高句麗

設問02 に入る語を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 楊貴妃
- B 則天武后
- C 韋后
- D 西太后

設問03 下線部 [ウ] について，唐代の中国及び周辺地域の仏教・文字に関する説明として不適切なものを，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 玄奘がインドに行って仏教を学んだ。
- B インド仏教とチベットの民間信仰が融合したチベット仏教（ラマ教）が生まれた。
- C ベトナムで漢字を応用した字喃（チュノム）と呼ばれる文字が作られた。
- D 突厥が騎馬遊牧民ではじめて自分たちの文字を使用した。

設問04 [グループA] の発表内容から導くことができる説明として適切なものを，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A いずれの地域でも王家の血を引かない女性が君主となることはなかった。
- B 日本と中国では君主の妻として政治実績のある女性が君主となった。
- C 日本とベトナムでは王族の母であることが女性の権力の基盤であった。
- D いずれの地域でも7～9世紀に女性君主が出現した。

[グループB]

私たちは16世紀～17世紀の東アジアの国際環境の変化についてまとめました。

生徒A：16世紀には、経済成長をした中国で^[エ]銀流通が拡大し、それに伴い、海上貿易によって外国から大量の銀が流入するようになりました。当時アジア最大の銀生産国であった日本と中国との間の正規の貿易が途絶したため、^[オ]密貿易が急速に広がり、中国沿岸部も含めた海賊活動が激化しました。これが後期倭寇と呼ばれるものです。実際には中国や朝鮮半島の沿海民も含まれていましたが、日本を倭寇の根拠地と考えた明朝は、海禁を緩和する際も日本との通商は許可しないなど強硬な姿勢を見せました。朝鮮王朝も、倭寇を禁圧できない日本との通商に消極的になっていきました。倭寇の存在は、日本に対する周辺諸国の不信を生み、豊臣秀吉の朝鮮出兵はそうした不信を決定的なものにしました。^[カ]こうして日本は東アジアにおいて外交的に孤立してゆくこととなります。

ヨーロッパ勢力の動向も重要です。スペインがマニラを拠点に対アジア貿易を開始したことで、^[キ]日本銀に劣らない量の銀がアメリカ大陸から流入するようになりました。それ以前からアジアに進出していたポルトガル人の存在もあり、ヨーロッパとアジアの経済関係は強まりました。また、^[ク]宣教師たちがキリスト教とともに西洋の技術や文化を伝えました。ポルトガル人は倭寇と結びつき、東シナ海域にも進出しました。その結果、もたらされたものの一つが火縄銃です。新式火器の登場により^[ケ]東・東南アジアでは海上交易から利益を得ていた国家の軍事強国化が進みました。

17世紀には東アジアの国際環境が大きく変化しました。明朝が滅亡し、代わって中国を支配したのは清朝でした。清朝は朝鮮・琉球とは冊封・朝貢関係を結びましたが、日本とは公式の外交関係を持ちませんでした。また、徳川幕府は治安維持の観点から、カトリック諸国との断交や日本人の渡航禁止、貿易管理強化など、対外統制政策を打ち出すようになりました。こうした統制の下でも当初対アジア貿易は活発に行われていましたが、銀が枯渇してくると貿易量の制限を行い、結果としてアジアの域内貿易は停滞しました。

文化面では、^[コ]東アジアの多くの政権で朱子学が採用され、儒教を中心とする中国文化の体系が各国エリート共通の知的基盤となりました。

教師：ありがとうございました。今の発表について質問はありませんか？

生徒B：ベトナムも文化的には東アジアの一部と言われているけど、今の発表には出てきませんでした。^[サ]当時のベトナムはどのような状況だったのでしょうか？

生徒C：^[シ]17世紀になると倭寇の話は出てこなくなりますよね。活動が沈静化したのだと思いますが、その理由は何でしょうか？

設問05 下線部 [エ] を受けて、明朝下でとられた政策を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 銀と兌換可能な紙幣を発行した。
- B 租税と徭役を銀に換算し、一括で納入させた。
- C 人頭税を土地税に繰り込み銀で納入させた。
- D 銅銭の使用を禁じ、銀を公式貨幣とした。

設問06 下線部 [オ] について、日本銀を代価として中国から輸入された主な商品を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 生糸
- B 硫黄
- C 扇
- D 刀剣

設問07 下線部 [カ] について、15世紀以降、朝鮮と日本との間の通商の仲立ちをし、後に両者の国交回復を実現した勢力の拠点を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 琉球
- B 対馬
- C 松前
- D 台湾

設問08 下線部 [キ] の銀は、大半が円形の貨幣であった。この貨幣を鑄造した国を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A メキシコ
- B アメリカ
- C スペイン
- D ポルトガル

設問09 下線部 [ク] について、明朝下の中国を訪れた宣教師を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A フェルベースト（南懐仁）
- B マテオ＝リッチ（利瑪竇）
- C カステイリオーネ（郎世寧）
- D ブーヴェ（白進）

設問10 下線部 [ケ] に該当しない国を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A タウンゲー（トゥンゲー）朝
- B アユタヤ朝
- C 大越国
- D マラッカ（ムラカ）王国

設問11 下線部 [コ] について述べた説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 朝鮮では、満州（洲）人が立てた清朝よりも自分達が正統な中華文明を保っていると意識が強まった。
- B 清朝では、儒教の古典文献による実証を重視する考証学が発展した。
- C 朝鮮・日本・ベトナムで、朱子学が官学とされた。
- D 清朝では、満州（洲）人が重用され、郷紳の勢力は没落した。

設問12 下線部 [サ] について、17世紀のベトナムに関する説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 満州（洲）人の王朝である清への朝貢を拒否した。
- B 南北に分かれて内戦が起こったことで、フランスの介入を招いた。
- C 日本から多くの朱印船が訪れ、活発な貿易が行われた。
- D バタヴィアがオランダ東インド会社の拠点となった。

設問13 下線部 [シ] に対する答えとして明らかに不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 東シナ海の貿易量が減少したから。
- B 日本で国家による住民把握と身分の固定化が進んだから。
- C 清朝が一貫して朝貢貿易以外を認めない政策をとったから。
- D オランダ東インド会社がアジア間の貿易を積極的に進めたから。

[グループC]

私たちは19世紀末～20世紀初頭の日本に亡命してきた中国・朝鮮・ベトナムの知識人のプロフィールを調べ、次のような文章にまとめました。そこからわかることを話し合います。

[梁啓超, 1873-1929年] ※名前の後の年は生没年

中国, 清末民国初期の政治家・啓蒙思想家。広東省新会県の生まれ。1896年, 上海で『時務報』を主宰し「変法通議」を發表し, 『西政叢書』を編集してヨーロッパ学芸の紹介に努めた。翌1897年に長沙の時務学堂で講義し, 変法自強運動を積極的に鼓吹した。1898年北京に行き, ^[ス]戊戌の変法に参加。保守派のクーデターで失脚し, 日本に亡命した。日本では『清議報』, 続いて『新民叢報』を編集し, 立憲保皇の立場をとり, 民主革命派からは批判された。しかし, ヨーロッパの社会・政治・経済学説を紹介し, 当時の知識階級にかなり大きな影響を与えた。辛亥革命後の1912年10月に帰国し, 北京政府で要職をつとめた。五・四運動の時期には儒教打倒のスローガンに反対した。

[兪吉濬, 1856-1914年]

朝鮮末期の政治家・啓蒙思想家。漢城（現在のソウル）の生まれ。1881年, 日本に留学し, 慶應義塾で福沢諭吉に学んだ。1883年にはアメリカに留学し, エドワード＝モースの下で学んだ。甲申政変後の1885年に帰国するが, 開化派の一員とみなされて逮捕され, 幽閉生活を送る。日清戦争の過程で成立した金弘集内閣に入閣して改革の中心人物となるが, 高宗がロシア公使館に避難し, ロシアの影響力が強まると日本に亡命した。日本の意図が日韓併合にあると悟った彼は1907年に帰国して愛国啓蒙運動を進め, ^[セ]訓民正音（ハングル）の普及を進めるなど, 韓国近代化と独立の維持を唱えた。日韓併合後に朝鮮貴族の一員として男爵を授与されることになったが, これを恥じ, 爵位を返上した。

[ファン＝ボイ＝チャウ, 1867-1940年]

ベトナムの民族運動指導者。1904年, フランスの植民地支配に対しベトナム皇族のクオンデを盟主とする を結成し抵抗運動を開始する。また人材育成のため青年を日本に留学させるドンズー（東遊）運動を組織, 自らも渡日するが, ^[タ]1907年に日仏協約を結んだ日本政府により日本を追われた。その後, 革命が起こった中国・広東に渡った。中国を拠点に, ベトナム国内での反仏武装蜂起を準備したが成功せず, 1925年に上海でフランス官憲により逮捕, フェで軟禁生活を送った。彼の逮捕・拘束に際し釈放を求める学生運動がベトナムで高揚し, 後の共産党幹部など独立運動を支える人材を輩出した。

生徒D：そもそも、この時期に東アジアから多くの人たちが日本に亡命してきているのはなぜでしょうか？

生徒E： からですかね。

生徒F：でもどうして日本を亡命先に選んだのでしょうか？

生徒G：近いからというのもあるだろうけど、当時の日本は近代化に成功した国でお手本にしたいと周辺国の人たちに思われていたんじゃないですかね。

生徒H：ちなみに梁啓超とファン=ボーイ=チャウは日本で出会って盟友になったらしいですよ。彼らは最初筆談でコミュニケーションをとっていたみたいです。日本も含め同じ文化圏で価値観を共有していることも大きかったんじゃないでしょうか。

生徒I：でも最終的にはファン=ボーイ=チャウは中国に行ってしまいましたよね。どうしてでしょうか？

生徒J：ことが背景にあるんだと思います。

設問14 下線部 [ス] の内容として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 共和政の確立
- B 西洋式工場の設置
- C 国会の開設
- D 大学の創設

設問15 兪吉濬の日本留学中に朝鮮と日本との間で起きた事件を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 甲午農民戦争
- B 江華島事件
- C 壬午軍乱
- D 洪景来の乱

設問16 下線部 [セ] を制定した朝鮮の国王を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 太宗
- B 高宗
- C 聖宗
- D 世宗

設問17 に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 維新会
- B 東学党
- C 国民党
- D 光復会

設問18 下線部 [タ] の時のフランスの政治体制を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 第二共和政
- B 第三共和政
- C 第一帝政
- D 第二帝政

設問19 に入る文として明らかに不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 交通革命のおかげで、外国に行くことが容易になった
- B アジア各地で民族紛争が起こっていた
- C 西洋列強の進出でアジア諸国の政治状況が不安定になった
- D 出版メディアが普及し、価値観の対立が激しくなった

設問20 □ツ□に入る文として明らかに不適切なものを，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 日本政府が朝鮮の保護国化政策を進めるなど帝国主義の動きを見せた
- B 日本政府がアジアの民族の独立より西洋列強との関係を重視した
- C ベトナムと中国との間で交流が盛んであった
- D 中国で共産主義革命が成功しつつあった

2 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[ア] イスラーム諸学をおさめた知識人であるイブン=バットゥータは、[イ] メッカ巡礼を志して故郷を出発した。その後、彼は約30年間旅を続け、帰国後にモロッコのマリーン朝君主の求めに応じて彼が見聞した内容を口述筆記した『旅行記』（『三大陸周遊記』）を残した。

『旅行記』にそってイブン=バットゥータの旅程の概要を見てみると、彼はまずチュニスを目指し、[ウ] アレクサンドリアから[エ] ダマスクスに入った。その途中で、立ち寄ったある都市について下記のように記録されている。

次に [オ] に着いた。二つの聖なる殿堂につぐ聖地で、[カ] はある夜の夢にここから天に昇りたもうたのである。市街は大規模で美しく、石造りであるが、かの名君 [キ] が十字軍士の手からここを攻め取ったとき、城壁の一部を破壊した。その後、マムルーク朝のザーヒル=バイバルス王がさらに徹底的にとりこわした。それは、[ク] 十字軍がここを回復して拠点とするおそれをなくすためであった。

その後、[ケ] メッカ巡礼を行ったイブン=バットゥータは、[コ] バグダードを目指した。その道中では、下記のように記されている。

むかし、ここでメッカ巡礼に赴く途中、スンナ派の人々により投石で殺された[サ] シーア派の者がいた。今もその墓のほとりに石の堆積があり、その側を通る者は石を投げつけている。

そしてイブン=バットゥータは、ペルシア湾交易圏の交易路をたどって[シ] イル=ハン国のタブリーズまで足をのびた。それから彼は、紅海にもどり、モンスーンを利用して[ス] ダウ船で東アフリカのキルワなどを訪れ、形成されつつあったスワヒリ文化にも触れた。

その後、イブン=バットゥータは、[セ] アナトリアへ行く。彼は、ビザンツ帝国（東ローマ帝国）に入国し、[ソ] コンスタンティノーブルの宮殿の門では入門を阻まれたが、王妃のとりなしで入門を許可された。

それからイブン=バットゥータは、[タ] キプチャク=ハン国で君主に謁見した。その国から東はモンゴル人が広大なユーラシア交易圏を確立していた。その交易路にそい、彼は[チ] チャガタイ=ハン国を訪れ、ブハラが攻撃後、復興されていないを見た。

そして彼は、インドに入り、約8年間[ツ] デリーで法官として奉職し、滞在した。さらに彼は海路でスマトラ島を経由して、中国の泉州、福州、杭州をへて[テ] 大都に行った。帰国後、[ト] イベリア半島やサハラ砂漠以南も訪ねたといわれている。彼がたどった道では、イスラーム化が各地で見られたのである。

設問21 下線部 [ア] を示す語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アミール
- B ウラマー
- C カリフ
- D マワーリー

設問22 下線部 [イ] は、ムスリムに義務付けられている五行の一つであるが、その五行に含まれない項目を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 告解
- B 信仰告白
- C 礼拝
- D 断食

設問23 下線部 [ウ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 古代ローマ時代にキリスト教の五本山の一つとなった。
- B ヘレニズム文明の一大中心地となった。
- C セレウコスが建てた王朝があった。
- D 自然科学や人文科学を研究するムセイオンが建設された。

設問24 下線部 [エ] に関して、イブン=バットゥータが通った巡礼道は、ヒジャーズ鉄道とほぼ一致する。1900年にこの鉄道の建設を開始した際、スルタンであった人物を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アブデュルハミト2世
- B アブデュルメジト1世
- C ムスタファ=レシト=パシャ
- D ミドハト=パシャ

設問25 に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A イエルサレム
- B カイロ
- C ベツレヘム
- D アレッポ

設問26 に入る預言者を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アッラー
- B ムハンマド
- C モーセ
- D ノア

設問27 に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アブド=アッラフマーン3世
- B アブー=バクル
- C サラディン (サラーフ=アッディーン)
- D ハールーン=アッラシード

- 設問28 下線部 [ク] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。
- A 教皇による東西教会統一の企てが背景にあった。
 - B キリスト教徒にとって聖地回復の戦いであった。
 - C 社会の安定に伴う民衆の巡礼熱も影響を及ぼした。
 - D セルジューク朝の侵攻により神聖ローマ皇帝が救援を要請した。
- 設問29 下線部 [ケ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。
- A 世界遺産であるイマームのモスクがある。
 - B セリム1世がオスマン帝国の保護下においた。
 - C フセイン（フサイン）がヒジャーズ王国を建国し、その首都をおいた。
 - D マリ王国のマンサ・ムーサ王が1324年に巡礼した。
- 設問30 下線部 [コ] を支配していたアッバース朝に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。
- A 軍事・経済上の重要な地方に通じる4つの門をもつ円形都市を建設した。
 - B イスラーム法の整備がすすんだ。
 - C 民族を問わず、ムスリムにジズヤが課された。
 - D アッバース朝の樹立に協力したシーア派を弾圧した。
- 設問31 下線部 [サ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。
- A アイユーブ朝以降は、アズハル学院がこの派の最高学府となった。
 - B この派は、アリーとその子孫をイスラーム共同体の指導者として認める。
 - C サファヴィー朝が、この派を国教とした。
 - D この派の法学者であるホメイニを最高指導者とするイラン＝イスラーム共和国が成立した。
- 設問32 下線部 [シ] の国教がイスラーム教になったとき君主であった人物を、以下のA～Dの中から選択しなさい。
- A ガザン＝ハン
 - B アルタン＝ハン
 - C フラゲ
 - D モンケ
- 設問33 下線部 [ス] に関する説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。
- A 船底をしきる隔壁を特徴とする大型船である。
 - B 折り畳み式の帆を持つ木造船である。
 - C 三角型の帆を持つ木造船である。
 - D 両舷げんにそなえられた多数の櫂かいを特徴とする大型船である。

設問34 下線部 [セ] の西北部で1300年頃に発展し拡大していった国に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 1529年にウィーンを包囲してヨーロッパ諸国に脅威を与えた。
- B 帝国内のキリスト教やユダヤ教などの宗教共同体に自治を認めた。
- C 16世紀にスペインの商人に領内での安全保障や治外法権などの特権を与えた。
- D アンカラ（アンゴラ）の戦いに敗北し、一時打撃を受けたが、後に再建された。

設問35 下線部 [ソ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アジアとヨーロッパを結ぶ貿易都市として栄えた。
- B 旧名ビザンティウム、現在はイスタンブールと呼ばれている。
- C 第3回十字軍が占拠した。
- D 代表的な建築はハギア（セント）＝ソフィア聖堂である。

設問36 下線部 [タ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 14世紀前半に全盛期を迎え、イスラーム文化が盛んになった。
- B モンゴルの歴史を中心とした『集史』がつくられた。
- C バトゥがサライを都にして国をたてた。
- D モスクワ大公国の自立後、分裂・解体した。

設問37 下線部 [チ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アルマリクを中心に交易で栄えた。
- B ティムールが勢力をのばし、サマルカンドを滅ぼした。
- C チンギス＝ハンの次男とその子孫を君主とした。
- D 14世紀半ばに東西に分裂した。

設問38 下線部 [ツ] を都として、インドでは13世紀から16世紀まで5つのイスラーム系の王朝が成立した。その王朝に含まれないものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ガズナ朝
- B ハルジー朝
- C トゥグルク朝
- D ロディー朝

設問39 下線部 [テ] に、ローマ教皇によってカトリック布教のために派遣されたフランチェスコ会修道士を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A プラノ＝カルピニ
- B マルコ＝ポーロ
- C モンテ＝コルヴィノ
- D ルブルック

設問40 下線部〔ト〕に関連した説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 古代ローマ文化の代表的建築物アルハンブラ宮殿がある。
- B セルバンテスが社会の矛盾を風刺して『ドン=キホーテ』を書いた。
- C 「女官たち」の絵画で知られるベラスケスが宮廷画家として活躍した。
- D ヘミングウェイが国際義勇軍の従軍経験をもとに『誰がために鐘は鳴る』を著した。

3 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[問題文A]

北アメリカ大陸の大西洋岸にあったイギリスの13の植民地の人々は、^[ア]当時のイギリス本国による弾圧政策に反発し、1774年に大陸会議を開催して自治を要求した。その後、イギリス本国との和解の試みは成功せず、翌年には武力衝突が発生し、独立戦争が勃発した。1776年7月4日に13の植民地の代表者は、^[イ]独立宣言を発表した。この戦争に際しては、イギリスと対立関係にあったフランスや同国の側に立ったスペインの参戦、また、ロシアが主導した武装中立同盟が独立軍の優勢に寄与し、1783年の 条約によってアメリカ合衆国の独立が承認された。

設問41 下線部 [ア] の具体例を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 工場法
- B カトリック教徒の弾圧
- C ボストン港閉鎖
- D ローラット法

設問42 下線部 [イ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A フィラデルフィアで発表された。
- B トマス＝ジェファソンらが起草した。
- C 自由および平等を人の生まれながらの権利としていた。
- D ジョン＝ステュアート＝ミルの思想の影響を受けていた。

設問43 に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ウィーン
- B ワシントン
- C マドリード
- D パリ

設問44 [問題文A] の戦争に引き続いて制定されたアメリカ合衆国憲法に関する説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A この憲法を支持する反連邦派とこれに批判的な連邦派の対立が発生し、後に政党の対立へと発展した。
- B この憲法の制定と同時に、黒人奴隷制は廃止された。
- C 中央政府の権限を強化することが独立を維持するために必要であったので、各州の自治権は保障されなかった。
- D この憲法は、人民主権を基礎として共和政を採用した。

【問題文B】

[エ] フランス革命期の戦争において台頭したナポレオンは、対外的な拡大へと乗り出した。これに対抗して、1805年にイギリス、ロシア、オーストリアなどは、第3回対仏大同盟を結成し、また、同年10月には、ネルソン提督率いるイギリス海軍が [オ] の海戦でフランス海軍を破った。しかし、その後、ナポレオンは、[カ] いくつかの戦いで勝利を重ね、ヨーロッパ大陸をほぼその支配下においた。封建的圧政からの解放を理念として掲げたナポレオンの征服によって被征服地では改革が促進されたが、同時に、その支配に対して民族意識が高揚することになった。さらに、1812年に、ナポレオンは、ロシアに遠征したが失敗に終わり、翌年には、諸国が解放戦争としてライプツィヒの戦いでナポレオンを破った。1815年には、ナポレオンは、皇帝に復位し再起を図るも、ワーテルローの戦いで大敗を喫した。その後、[キ] ウィーン会議で新たな国際秩序が形成されていくことになる。

設問45 下線部 [エ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 人権宣言は、所有権が不可侵の権利であることを否定していた。
- B バスティーユ牢獄襲撃が革命の発端となった。
- C 国民議会は、1791年に立憲君主政を定めた憲法を制定した。
- D ルイ16世は、革命の過程で処刑された。

設問46 [オ] に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A サラミス
- B セントヘレナ
- C マゼラン
- D トラファルガー

設問47 下線部 [カ] の具体例を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ファルツの戦い
- B ヴァルミーの戦い
- C アウステルリッツの戦い（三帝会戦）
- D レキシントンの戦い

設問48 下線部 [キ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A この会議では、列強間の合意に基づいて国際秩序の再建が図られた。
- B この会議は、「会議は踊る、されど進まず」ということばで風刺された。
- C この会議で調印された議定書では、スイスの永世中立が承認された。
- D この会議の結果、自由主義とナショナリズムを基本とする体制が確立した。

[問題文C]

シュレスヴィヒ・ホルシュタイン両州の管理をめぐってプロイセンとオーストリアの間で紛争が起き、1866年に両国の間でプロイセン＝オーストリア戦争が勃発した。プロイセンが勝利し、翌年には、プロイセンを盟主とする [ク] 連邦が結成された。フランスのナポレオン3世は、プロイセンが強大化することをおそれ、 [ケ] 問題でプロイセンの影響力を阻止した。しかし、 [コ] ビスマルクの挑発に乗って、1870年7月に宣戦布告した。このプロイセン＝フランス戦争は、プロイセンの勝利に終わった。戦争中の1871年1月には、 [サ] ドイツ帝国の成立が宣言された。

設問49 [ク] に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A プロイセン
- B 北ドイツ
- C ゲルマン
- D ザクセン

設問50 [ケ] に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A スペイン王位継承
- B アイルランド
- C ギリシア独立
- D ベルギー独立

設問51 下線部 [コ] がプロイセン首相およびドイツ帝国宰相に在任中に実施した政策に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 軍備拡張を実施した。
- B 文化闘争によってプロテスタントを弾圧した。
- C 保護関税政策を実施した。
- D 社会保険制度を整備した。

設問52 下線部 [サ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 帝国議会の議員は、25歳以上の男性普通選挙によって選出された。
- B 帝国を構成する各君主国と都市国家の代表からなる連邦参議院が設置された。
- C プロイセン国王がドイツ皇帝を兼ねた。
- D 帝国宰相は、帝国議会のみに対して責任を負っていた。

[問題文D]

1914年6月にオーストリア帝位継承者の夫妻がボスニアの州都であった [シ] においてセルビア人民族主義者に暗殺された。オーストリアは、スラヴ系民族運動をおさえる好機とみて、ドイツの支持を得て同年7月末にセルビアに宣戦すると、ロシアはセルビア支持を表明した。同年8月初め以降、他の列強諸国も参戦し、同盟国側と [ス] 協商国側（連合国側） に分かれた大戦となった。この戦争は、新兵器によって多くの犠牲者を出し、国民全体を動員する総力戦となった。同盟国側が敗北したこの戦争の後、 [セ] ヴェルサイユ体制 が形成されていくことになった。

設問53 [シ] に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ブカレスト
- B サライェヴォ
- C プラハ
- D ベオグラード

設問54 下線部 [ス] に属する国を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ブルガリア
- B オーストリア
- C フランス
- D オスマン帝国

設問55 下線部 [セ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 講和の基礎となる民族自決の原則は、アジアやアフリカにも等しく適用された。
- B ドイツは、軍備を制限され、徴兵制も禁止された。
- C ドイツは、アルザス・ロレーヌをフランスに返還することになった。
- D アメリカは国際連盟に参加しなかった。

設問56 [問題文D] の戦中・戦後において生じた事象として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 参戦各国政府は、戦争遂行のため、強力な権限の下で、国民に負担や義務を課した。
- B イギリスやフランスでは、戦争遂行のため、反対政党も政権に加えた挙国一致体制が成立することがあった。
- C ドイツでは、即時講和を求める水兵がキール軍港で反乱を起こし、革命運動が全国に拡大した。
- D ドイツでは、戦後、ヴァイマル憲法が制定され、君主制が復活した。

[問題文E]

[ソ] 国民社会主義のイデオロギーを掲げて独裁的権力を掌握したナチスの下で、ドイツは、1939年9月に [タ] 侵攻を開始した。これに対して、イギリスとフランスは、ドイツに宣戦布告した。1940年6月には、枢軸国側のイタリアが、イギリスとフランスに宣戦布告した。また、日本は、1941年12月に真珠湾にあるアメリカ海軍基地を攻撃し、アメリカ、イギリスなどに宣戦布告して太平洋戦争に突入していく。ドイツとイタリアも、アメリカに宣戦布告し、枢軸国と連合国間の世界大戦へと発展した。開戦の当初、ドイツ軍は、[チ] ヨーロッパ全土を軍事的に席卷したが、1942年後半より、連合国側の総反撃が開始され、また、1943年初めにソ連軍が [ツ] でドイツ軍を投降させた。日本は、太平洋地域で攻勢に出たが、1942年6月にミッドウェー海戦で、また、1943年2月にガダルカナル島の戦いで敗れて戦争の主導権を失い、その後、敗色が濃厚になっていった。枢軸国側は、1943年9月にイタリア、1945年5月にドイツ、8月に日本が降伏し、連合国側の主導の下、戦後の国際秩序が形成されていくことになる。

設問57 下線部 [ソ] に関してその政権下で実施された政策として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 全権委任法の制定
- B 国際連盟からの脱退
- C 高速道路（アウトバーン）の建設
- D カトリック教会との間の政教条約の廃止

設問58 [タ] に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A スウェーデン
- B ユーゴスラヴィア
- C ポーランド
- D スイス

設問59 下線部 [チ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A デンマークとノルウェーに侵攻した。
- B オランダとベルギーに侵攻した。
- C フランス南部において、ドイツに協力するド＝ゴールが率いる政府が統治した。
- D バルカン半島に侵攻し、ユーゴスラヴィアとギリシアを占領した。

設問60 [ツ] に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A モスクワ
- B ワルシャワ
- C ヤルタ
- D スターリングラード